

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ホンダ テクニカル カレッジ 関西
設置者名	学校法人 ホンダ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	自動車整備科	夜・通信	236時間	160時間	
	自動車研究開発科	夜・通信	503時間	240時間	
	一級自動車研究開発学科 一級自動車整備士コース	夜・通信	652時間	320時間	
	一級自動車研究開発学科 自動車研究開発コース	夜・通信	1425時間	320時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)	自動車研究開発科は、2020年度より募集停止しているが、在学生については、従前の教育課程に基づいて記載している。				

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/about/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ホンダ テクニカル カレッジ 関西
設置者名	学校法人 ホンダ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/about/disclosure/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	本田技研工業役員	2019年11月30日～ 2021年11月29日	理事会での法人業務の決定
非常勤	本田技研工業役員	2019年11月30日～ 2021年11月29日	理事会での法人業務の決定
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ホンダ テクニカル カレッジ 関西
設置者名	学校法人 ホンダ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
各学科において必修となる授業科目毎に、「授業の内容・目的」および「開講時期・授業時間数・授業方法」を作成すると共に、学則細則にて規定された「学習評価の基準・修了/卒業の認定」についてホームページにて公表している。	
授業計画書の公表方法	http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/about/disclosure/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
学習評価については、学則細則にて規定している。 学習評価の時期は、各学期末に行い、また、学習評価の方法は、平常試験・報告書及び期末試験を総合して評価している。 学習評価は、「5・4・3・2・1」の5段階で表し、「試験点数の評価」「報告書の評価」の基準についても、学則細則で規定している。	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目について、半期毎（前期・後期）に実施の学習評価点の合計を、履修科目数で除した平均を「総合評価平均」とし、平均値が高い順番に並べたものを「総合評価平均順位」をしている。算出方法を＜成績評価基準＞としてホームページで公表していると共に、学科学年ごとの成績分布を把握している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/about/disclosure/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則細則において、「学習評価の基準」により各授業科目の合格ラインを設定。出席状「修了の認定」「卒業の認定」において、成績及び授業の出席状況を勘案して認定する事を規定し、公表を行っている。</p> <p>卒業の認定の適切な実施にあたり、「進級・卒業認定規定」に基づき委員会による審議により卒業の認定を行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/about/disclosure/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ホンダ テクニカル カレッジ 関西
設置者名	学校法人 ホンダ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/about/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/about/disclosure/
財産目録	http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/about/disclosure/
事業報告書	http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/about/disclosure/
監事による監査報告（書）	http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/about/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報・・・自動車整備科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	自動車整備科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験 実技
2年	昼間	2090時間	1014 時間		1270 時間	76 時間
	夜間		単位時間/単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
300人		159人	21人	8人	0人	8人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学校教育法及び私立学校法の規定に基づき、高度の一般教育と実践的専門的な技術及び理論を習得させ、新時代に相応しい健全有意な国家二級自動車整備士を育成する事を目的とする。
成績評価の基準・方法
（概要） 平常試験、報告書及び期末試験を総合して評価。 （平常及び期末試験は60点以上合格）
卒業・進級の認定基準
（概要） 必須科目全ての履修完了、および全ての試験に合格が課程修了の条件必要な課程を修了した者を進級・卒業認定する。
学修支援等
（概要） クラス担任制有り / 本人及び保護者(家庭連絡) 連絡、部科長・担任との三者面談実施、保護者との連携強化

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
89人 (100%)	0人 (0%)	86人 (97%)	3人 (3%)
(主な就職、業界等) 自動車販売会社、自動車整備工場、自動車メーカー、自動車関連企業			
(就職指導内容) 就職説明会、企業説明会、企業セミナー等の開催 クラス担当及び就職担当による個別指導等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家二級ガソリン自動車整備士 受験者数 88名 合格者数 87名 国家二級ジーゼル自動車整備士 受験者数 88名 合格者数 87名			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
189人	16人	8.4%
(中途退学の主な理由) 学業不振、進路変更、病気怪我等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、放課後の学習支援など学生個々に焦点をあてた個別指導 保護者との連携（連絡、および三者面談の実施） 学生相談室（カウンセラー） 自動車業界への興味喚起		

① 学科等の情報 ・ ・ ・ 一級自動車研究開発学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	一級自動車研究開発学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼夜	4150時間	1814 時間	60 時間	2670 時間	0 時間	76 時間
	昼間		単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
220人		151人	5人	8人	8人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学校教育法及び私立学校法の規定に基づき、高度の一般教育と実践的専門的な技術及び理論を習得させ、新時代に相応しい健全有意な国家一級自動車整備士を育成する事を目的とする。
成績評価の基準・方法
（概要） 平常試験、報告書及び期末試験を総合して評価。 （平常及び期末試験は60点以上合格）
卒業・進級の認定基準
（概要） 必須科目全ての履修完了、および全ての試験に合格が課程修了の条件必要な課程を修了した者を進級・卒業認定する。
学修支援等
（概要） クラス担任制有り / 本人及び保護者(家庭連絡) 連絡、部科長・担任との三者面談実施、保護者との連携強化

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	0人 (0%)	30人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 自動車販売会社、自動車整備工場、自動車メーカー、自動車関連企業			
（就職指導内容） 就職説明会、企業説明会、企業セミナー等の開催 クラス担当及び就職担当による個別指導等			
（主な学修成果（資格・検定等））			
国家二級ガソリン自動車整備士	受験者数	31名	合格者数 31名
国家二級ジーゼル自動車整備士	受験者数	31名	合格者数 31名
国家一級小型自動車整備士	受験者数	30名	合格者数 28名
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
124人	6人	4.8%
（中途退学の主な理由） 学業不振、進路変更、病気怪我等		

(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、放課後の学習支援など学生個々に焦点をあてた個別指導 保護者との連携（連絡、および三者面談の実施） 学生相談室（カウンセラー） 自動車業界への興味喚起

①学科等の情報・・・自動車研究開発科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	自動車研究開発科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3219時間	1353 時間	0 時間	1834 時間	0 時間	36 時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		30人	1人	6人	0人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学校教育法及び私立学校法の規定に基づき、高度の一般教育と実践的専門的な技術及び理論を習得させ、モビリティ領域で幅広く活躍できる健全有意な人材を育成する事を目的とする。
成績評価の基準・方法
（概要） 平常試験、報告書及び期末試験を総合して評価。 （平常及び期末試験は60点以上合格）
卒業・進級の認定基準
（概要） 必須科目全ての履修完了、および全ての試験に合格が課程修了の条件必要な課程を修了した者を進級・卒業認定する。
学修支援等
（概要） クラス担任制有り / 本人及び保護者（家庭連絡）連絡、部科長・担任との三者面談実施、保護者との連携強化

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	16人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等) 自動車メーカー、自動車関連企業等
(就職指導内容) 就職説明会、企業説明会、企業セミナー等の開催 クラス担当及び就職担当による個別指導等
(主な学修成果(資格・検定等)) 国家二級ガソリン自動車整備士 受験者数 16名 合格者数 16名
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52人	5人	9.6%
(中途退学の主な理由) 学業不振、進路変更、病気怪我等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、放課後の学習支援など学生個々に焦点をあてた個別指導 保護者との連携(連絡、および三者面談の実施) 学生相談室(カウンセラー) 自動車業界への興味喚起		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
自動車整備科	280,000 円	500,000 円	490,000 円	
一級自動車研究開発学科	280,000 円	500,000 円	490,000 円	
自動車研究開発科	280,000 円	632,000 円	634,000 円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/about/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価とは、学校の自己評価の客観性・透明性を高め、学校と密接に関係する者の理解促進、連携協力による学校運営の改善を図ることを目的としています。具体的には、学校が策定した重点目標、計画の実施について自己評価を行い、その結果を踏まえ、今後の取組方針などについて、学校が選定した学校関係者評価委員に説明し、教育活動、学校運営等に係る課題を共有し、今後の方向性等に対する助言、評価等を頂くことで学校改善につなげることを目指しています。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
本田技研工業株式会社	2021年3月31日	企業委員
ホンダオートボディ株式会社	2022年3月31日	企業委員
株式会社 ホンダ四輪販売 関西	2022年3月31日	企業委員
株式会社 ホンダ泉州販売	2022年3月31日	企業委員
ホンダ テクニカル カレッジ 関西 後援会	2021年3月31日	P T A
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/about/disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。